

国語科

- ①聞かれている問い(事柄)を正確につかむために、文章の骨格や条件を細かく読み取る作業を授業の中に取り入れる。
- ②生徒の実態に応じた発問を精査する。
- ③単元の終末を見据えた計画を立てる。

社会科

- ①問いを明確にして話し合いを活性化させる。(アウトプットを行う)
- ②常に疑問をもつ問いや資料を選定する。
- ③単元を貫く問いを設定する。(授業を行っていく中で生徒の考えに変容がみられるような問い)

数学科

- ①・証明や説明の結果がよくないことから、なぜそうなるのかを自分の言葉で説明する場面を1時間に1回設定する。(ペアワーク・グループワークなど)
 - ・類似の問題を取り入れる。・最初の5分に計算力をつけるドリル学習を続けていく
- ②③・単元を通して見通しを持てる授業づくりや他学年の内容との関わりを考えることで、何を学ばよいかを理解する。・課題設定の仕方の工夫(身近な問題など)を行う。

理科

- ①課題となっている各調査問題や入試問題に取り組み、考え方を紹介する。各調査問題の類似問題を作成し、授業や定期テストで出題する。
- ②日常の事象や実物を活用し、なぜと思わせる導入と発問を設定する。
- ③単元のゴールを教師・生徒ともに明確にし、授業の振り返りを行うようにする。

音楽科

- ①身近に使われているBGM・CMなどを使用し、興味・関心を持たせるような導入を工夫する。
- ②音楽の鑑賞する際の聴くポイント・絞って課題を提示する。創作では条件をなるべく生徒自身が理解して創作方法を選択してできるようにする。
- ③歌唱・創作・器楽・鑑賞の各分野を繋げるめあてを設定する。

駅家中学校 学校教育目標「自律」「寛容」「志」

福山に愛着と誇りを持ち、社会の変化に対応し、自ら考え行動し、仲間と共に、未来を切り開き豊かな未来を創ろうとする人材

「思考力」 「コミュニケーション力・協調性」 「意志決定力・志」

授業力の向上

①【「問い」を設定する力・学びをファシリテートする力】

- 学習の過程で生徒の中から生じてくる疑問(問い)から、問題意識、探究心など(問い)を生むように教師はファシリテートする。
- ・生徒同士の学習の中で、問いをもち、その問いに対してじっくり考え、「分かった!!」「やったあ!!」「納得!!」となる姿を目指す。
 - ・教科書内にとどまらず、社会や日常生活とのつながりを意識する。
- 「問い」が、次の学びへとつなげ、学習への主体性や意欲を高める原動力になるものとする。

②【単元を構想する力】

- 「付きたい力(21世紀型スキル&倫理観)」を明確にしたカリキュラムの研究
- 単元を通して、生徒に何をどのように考えさせ、何を身に付けさせたいかを授業者が明確にもつとともに、どのような問いを投げかけ、どのような活動を仕組むかを整理していく。
- ・必要な知識や技能を定着していく学習と、それを実際に活用し思考する学習のバランスや計画の設定。
 - ・付きたい力を意識した学習活動(言語活動)の工夫や充実。
 - ・単元構想において「本質的な問い」、「単元を貫く問い」、「個別の問い」を整理する。

随時、更新中

1 学年

◆目標値

- ・次年度の伸び調査において、福山市平均以上。

◆学習指導

- ・つまずきの分析⇒先生のみならず友達との教え合い
- ・基礎的な学習の学び直しをする
- ・表現のフォーマットを提示する
(例)「(意見)です。……からです。」
- ・課題を丁寧にしよう指導する
- ・抽象的な現象は言語化して理解させる

◆学習集団・環境づくり

- ・ペア・グループ学習慣れしているので、引き続き活動を続ける

2 学年

◆目標値

- ・来年度の全国学力学習状況調査や伸びの調査において市平均以上。

◆学習指導

- ・2分前行動、1分前着席に取組み、落ち着いた授業を行う
- ・教える・教え合うのメリハリをつけた授業
- ・セミナー学習を通して、進路に向けた学習する雰囲気・環境を作る

◆学習集団・環境づくり

- ・学校のリーダーとなる準備をしていく
- ・服装、髪型など身だしなみを整える
- ・日常的に班活動を仕組み、絆が深まる取組みを行う
- ・係活動など自分の役割を意識させ、責任感を養う

3 学年

◆目標値

- ・3学期同アンケートを実施。すべての項目で数値向上。

◆学習指導

- OUTPUTする場の積極的創造
- ・1分間スピーチの充実
- ・自己表現カードを活用し、自分の思いや考えを書く、面談の実施
- ・グループワーク、入試に向けて、プレゼン力を高める

◆学習集団・環境づくり

- ・生徒面談や学活を通して、入試に向けてチームとして生徒同士が支え合うための学級作り
- ・入試過去問や問題集を利用した教え合い学習

2022年(令和4年)「全国学力・学習状況調査」・「学力の伸びを把握する調査」結果

1「全国学力・学習状況調査」結果

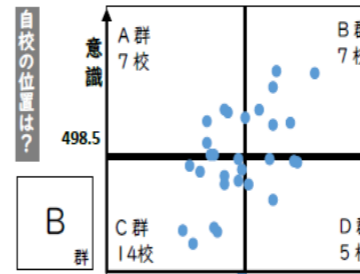
番号	質問事項(「主体的・対話的で深い学び」に関する項目)	「1」「2」を回答した生徒の割合			
		市	今年度	昨年度(中2時)	自校現中2生
38	1.2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、図の組立てなどを工夫して発表していましたか。	57.4	61.2	80	77.2
39	1.2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	77.9	87.4	89	86.9
40	1.2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行いましたか。	68.1	72.8	79	81.5
41	1.2年生のときに受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など創り出した活動を行いましたか。	65.6	62.2	79	69.6
42	1.2年生のときに受けた授業は、自分にあった考えや、教科、学習時間などになっていましたか。	76.6	79.6	86	83.7
43	学校の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	77.7	82.5	84	89.1
44	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	75.2	84.5	86	82.6
38~44の児童合計		498.5	530.2	583	570.6

【正答率】(%)

	※()は市平均		
	2019(H31)	2021(R3)	2022(R4)
国語	72 (72)	60 (63)	70 (67)
数学	60 (58)	52 (53)	50 (45)
理科	-	-	46 (46)
合計	132 (130)	112 (116)	166 (158)

2「学力の伸びを把握する調査」結果

学力を伸ばした生徒の割合(%)	※()内は市平均				
	国語		数学		英語
	3年	2年	3年	2年	3年
	53.6 (59.3)	69.8 (60.7)	53.6 (65.7)	67.9 (65.8)	81.3 (82.7)



美術科

- ①課題に興味・関心が持てる導入をする。(先輩の参考作品の提示・身近なテーマなど)
- ②生徒の実態に応じ、学習した知識や技法を生かして表現したいと思える課題を設定する。
- ③単元を貫く問いを設定する。

保健体育科

- ①教科本来の面白さや楽しみ方を理解できる導入を工夫する。
- ②体験や学習を通して疑問や解決策が考えられるようにする。
- ③単元を通して、付きたい力を明確にする。

技術科

- ①興味関心を高める導入の工夫を行う。学びの振り返りを大切にす。
- ②効果的な資料を示して、問いに対して自ら問いを立てられるように工夫する。
- ③単元を貫く問いをはじめに示し、単元の最後に全体を振り返る。

家庭科

- ①興味や関心を高める導入の工夫を行う。(動画や掲示物を利用して視覚的に)
- ②授業の終末に、学びの「振り返り」を書く時間をとり、理解度を確認する。
- ③生徒の実情を考慮して(安全を確保して)、授業や実習を進める。

英語科

- ①ラウンドシステムと並行して英文の文法指導をする。
- ②英文の語順を理解し、英文が書けるようになる帯活動を仕組む。
- ③ラウンドシステムの効果的な指導を研修し、実践に繋げる。

①教科として、各調査の数値を上げるために取り組むこと。②質の高い問いを生徒に立たせるための教科としての工夫。③単元構想の工夫。